

## 病床機能調整ワーキングの状況について

### 第1回病床機能調整ワーキングの開催

日時：平成30年7月25日（水） 16:00～17:10

場所：庄内総合支庁 4階 講堂

構成：管内12病院、庄内保健所

助言：山形大学

内容：地域医療構想の推進に関するアンケート調査結果について

他地域における病床機能調整について

各病院における将来構想について

### 内容の詳細

#### 地域医療構想の推進に関するアンケート調査結果について

○平成30年2月に各病院を対象に実施した「地域医療構想の推進に関するアンケート」の調査結果を説明し、庄内地域の各病院における考えについて共通認識を図った。

#### 他地域における病床機能調整について

○これまでに展開されてきた県内二次医療圏における病床機能調整について説明し、その方向性について共通認識を図った。

#### 各病院における将来構想について

○各病院における将来構想について出席者より各々御発言いただき、庄内管内における各病院の現時点の考えについて共有した。

### 主な意見等

- 将来的には地域医療構想に沿う形で病院の将来構想を考えることになる。
- インフルエンザ等の流行でベッドが不足する冬期を考慮し、部分的な開棟を考えている。
- 診療報酬改定をみながら、回復期や慢性期、地域包括ケア病棟への転用も含め、段階的に検討していく。
- 病床利用は季節変動がかなりある。昨年度の状況からは病床を減らす判断にいたっていない。
- 将来的には病床を減らしていくが、減らせば経営が厳しくなる。
- 法人と連携しながら、病床数を検討していく。
- 無理に調整しなくても自然の流れにまかせればいいのか。
- 地域医療構想は決して病床削減ありきではなく、自主的な取組となる。

以上